



H A S H I K A M I

はしかみ

2012年(平成24年)

NO.11

11月号 (November)

議会だより

「復興元年」 はしかみ



7月3日から6日までの4日間、沖繩県へ県外行政視察に行ってきました。
視察先の与那原町では、議会報告会や一般会議、議会だより発行など、
開かれた議会への取り組みが活発に行われています。

当町でも、議会報告会を実施できるか、議会だより作成の委員会を設置
すべきかなど研修してきました。(関連記事10～13ページに掲載)

写真 「行政視察先の与那原町議会議員と(沖繩県与那原町役場前)」

- 02 9月定例会
- 04 質疑あれこれ
- 06 ことが聞きたい
- 10 県外行政視察

がんばるう階上
がんばるう東北



道仏公民館耐震補強・改修工事 始まる!!

工事請負契約が締結され、9月から工事が始まった。指定避難所としての機能が強化されるとともに、今まで無かったスロープや、身障者用トイレが設置され、今まで以上に安全・安心・快適な利用が望めることとなる。大蛇地区集会所新築移転工事も始まった。

■専決処分

▽災害対策本部条例の一部改正
災害対策基本法の一部改正及び条文整理のため、災害対策本部条例の一部を改正する条例を専決処分したものについて、承認を求めため。

▽24年度一般会計補正予算

歳入歳出の額をそれぞれ調整し補正するため専決処分したものについて、承認を求めため。

1125万円を追加し、予算総額を57億5633万5千円とした。

■条例制定

▽復興産業集積区域における固定資産税の特別措置に関する条例の制定

東日本大震災復興特別区域法に基づき、復興推進計画の認定に伴い、指定事業者等が設置する施設等に係る固定資産税の課税免除を行うため。

■認定

▽23年度決算※

23年度の決算の認定に付するため。

(※詳しくは広報10月号2～3ページをご覧ください。)

■報告

▽23年度健全化判断比率※
23年度の健全化判断比率について報告するもの。

▽23年度資金不足比率※

23年度の資金不足比率について報告するもの。

(※詳しくは広報10月号4ページをご覧ください。)

■その他

▽県後期高齢者医療広域連合規約の変更

地方自治法第291条の3第3項の規定に基づき、県後期高齢者医療広域連合規約を変更したいので、同法291条の11の規定に基づき、議会の議決を求めため。

▽郡町村会館管理組合の解散

25年3月31日をもって、郡町村会館管理組合を解散するため。

▽郡町村会館管理組合の解散に伴う財産処分

郡町村会館管理組合を解散することに伴い、財産の処分を必要とするため。

▽郡町村会館管理組合の解散に伴う事務の承継並びに決算の審査及び認定の方法

郡町村会館管理組合を解散することに伴い、事務の承継並びに決算の審査及び、認定の方法を定めるため。

▽教育委員会の委員に任命する者

につき同意を求めること
二人の委員の任期満了に伴う後任の委員を任命するため。

任命された

熊谷 道雄 氏



任命された

荻ノ沢 俊明 氏



** 平成24年度 各会計の補正予算額 **

区 分	補 正 額 → 予 算 総 額	
一 般 会 計(第2号)	7,495万2千円 → 58億3,128万7千円	
特 別 会 計	国民健康保険(第1号)	5,888万 円 → 18億5,939万4千円
	漁業集落排水事業(第2号)	87万8千円 → 4,526万8千円
	介護保険(第1号)	1,094万3千円 → 9億8,681万2千円
	公共下水道事業(第2号)	△406万4千円 → 1億8,544万7千円
	後期高齢者医療(第1号)	31万4千円 → 9,001万6千円

■補正予算

▽24年度一般会計補正予算の主なもの
歳入は、国庫支出金、県支出金、繰越金などを追加。
歳出は、総務費、民生費、土木費などを追加し、教育費を減額。

第3回 9月定例会

平成24年第3回定例会を9月4日開会し、9月7日閉会しました。
 今回の議会では、認定1件、報告2件、専決処分2件、条例制定1件、補正
 予算6件、その他9件、計21件が上程されました。審議の結果、いずれも全会
 一致で可決。

■契約

▽大蛇地区集会所移転新築工事請
 負契約の締結

東日本大震災による津波で流出
 した大蛇集会所を移転新築するた
 め。

契約額 9069万5千円
 契約者 三浦建設工業株式会社



整地が完了した大蛇地区集会所移転新築現場

▽物品の買入れ

除雪ドーザ1台(付属装置一式)
 を取得するため。

契約額 1212万7千5百円
 契約者 TCM株式会社八戸支店



更新する除雪ドーザ(旧)



耐震補強・改修する道仏公民館

▽道仏公民館耐震補強・改修工事
 請負契約の締結

耐震補強・改修をし、指定避難
 所としての機能強化のため。

契約額 6851万1千円
 契約者 株式会社山道建設

豆知識

『地方公共団体の財政の健全化に
 関する法律(財政健全化法)』
 財政再生基準(レッドライン)
 の前段階として、早期健全化基準
 (イエローライン)を設け、公共
 団体の財政再建を促し、財政破綻
 を早い段階で防ぐことを目的につ
 くられた法律。

第4回臨時議会

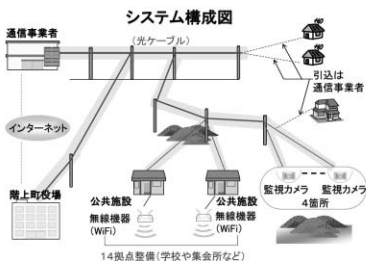
10月10日に招集され、全会一致で可決。

■契約

▽東部地区光ケーブル整備工事請負契約
 の締結

災害対策強化のため、沿岸部を含む東
 部地区に、光ケーブルを敷設するため。

契約額 1億3564万9千5百円
 契約者 東日本電信電話株式会社青森支店



(拡大図は議会だより) No.10
 8月号3ページに掲載

議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	会費	8月19日	現階上町消防団副団長名久井敏氏「藍綬褒章」受章祝賀会	5,000円
2	会費	9月30日	小舟渡小学校110周年記念式典祝賀会	4,000円
番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	祝金	9月2日	第20回県民駅伝競走大会町選手団反省会	3,000円

質疑あれこれ

9月定例会の議案の中から、
質疑を要約してお知らせします。

23年度決算の認定



山田 恵治 議員

◆防犯対策費

質 防犯灯設置費補助金は575万円。新規・交換に関わらず、LEDの防犯灯とし、23年度は、新規設置基数40基、交換基数46基の決算となっている。

① 24年度も予算化しているが、LED化率は合わせて何%まで進むのか。
② 町全体（1961基）の防犯灯LED化は、何年で全て交換になる計画か。

答 町民課長 ①24年度でLED化率は、約10%

になる見込み。

答 町長 ②復興基金を最大限に活用しながら、全て交換するまでの期間を、出来るだけ短縮できるように、財政も考えながら検討していきたい。

もっと短い期間で交換していくことが、急務だと思います。



加藤 祐 議員

◆健全化判断比率

質 22年度の実質公債費比率は15・3%、23年度は14・2%と改善されてきている。

次年度の予算執行にあたり、全てを注視しながら経費を使っていかなければならないのではないかと

答 町長 全体の基礎的財政収支を一般会計で、

できるだけ抑制しながら、また一方では、ニーズにも応えていかなければならないということもあるので、意見をしっかりと受け止め、慎重に対応していきたい。

全てを注視し、きちんと踏まえ進んでほしい。



郷州 公典 議員

◆教育振興費

質 「階上町の教育」という雑誌がある。

① 発行部数は。
② 表紙は、町内生徒が作成した、禁煙ポスターが使われている。
町としても、より禁

煙を前進させるべきではないか。

答 教育課長 ①120部程度。

② 教育委員会としても検討しながら、進めていきたい。

教育に生かすのはもちろん、政策としても取り上げていくべき。



林 貢 議員

◆一般会計決算

質 ①町税の徴収率は、4年連続でマイナスとなっている。

町として、どういう徴収体制を考えているか。

② 歳入歳出決算書の中の土地開発基金が、現在高510万6千円とあるが、土地開発基金条例は、基金額6千万円

となっているはず。数字の変更は、どういうことになったのか。

◆代表監査委員

① 口座振替を増やし、新規の振込ができない方へは、コールセンターから発信して徴収率を上げたいという提案が担当課からあり、そのように進めなさいと指導をしている。

◆町長

① 従来の、町単独の徴収体制に加え、県と市町村で組織している青森県市町村税滞納整理機構に徴収権を移管し、県知事名で督促をするなど、強く請求をしていくことを、今年度から始めた。

(②の答弁なし)



郡町村会館管理組合の解散



鹿原 章男 議員

◆解散に伴う財産処分
質 町村会館の売却が決まった。

取り壊す予定で、21年度から各町村で、取り壊し費用を負担している。
① この負担金の処理は。
② 返還の処分が、均等割40%、人口割60%になっている。
今までの町村会館負担金も同じ割合での返還になるのか。

◆総務課長

① 今年度中に、各町村に返還される。
② 負担割合の返還ではなく、今まで負担した全額が返還される。

工事請負契約の締結



石川清人 議員

◆道仏公民館耐震補強・改修工事

〔質〕耐震工事の計画にあたり、使用者・地元の方々の意見を取り入れて進めてきたのか。

話し合いも提示もないのはどうしてか。

ある程度、設計や予算が決まった時に、説明をしてほしいが、どう考えているのか。

〔答〕教育課長 改修にあたり、地元の方々に説明会を一回開催。利用者の方々には、利用された際に、意見を聞きながら進めてきた。利用者には、快く利用できる形で設計を組んでもらったが、ご意見があれば、工事をやり

ながら、進めていきたい。

〔答〕町長 今初めて出した話ではなく、数年前から耐震診断をし、昨年設計をした。そういう経過の中で、できれば議員さんも一緒に入っていたいただきたい。

あらたまった場での説明は、タイミングも難しく、今後、毎回全て提示するというのも、難しいと思う。しかし、大事業なので、施工の時期が近くなってきた時には、全員協議会などで説明も必要だと思っている。

地元の方々には説明の機会をもったが、議会には出していなかった。今後、大事業については、もう少し配慮していきたい。

予算をもって作るものなので、皆さんの考えを収集して良いものを作るべき。

議会活動

8月



「球技大会参加選手を激励する副議長」

- 4日 第9回双松福祉会夏まつり
- 7日 第42回町防犯・交通安全少年球技大会
- 8日 郡議長会県知事要望現地調査臨時総会
- 19日 現階上町消防団副団長名久井敏氏「藍綬褒章」受章祝賀会
- 19日 わっせ盆踊り大会
- 24日 第30回町老人スポーツ大会
- 24日 県民体育大会結団式
- 25日 第67回市町村対抗県民体育大会（～26日）
- 27日 郡議長会臨時総会
- 27日 第20回県民駅伝競走大会町選手団結団式

9月



- 29日 八戸地域広域市町村圏事務組合行政懇談会
- 30日 三陸沿岸道路「久慈北道路」起工式
- 31日 議会運営委員会
- 1日 各中学校運動会
- 2日 第20回県民駅伝競走大会反省会
- 4日 第3回定例会本会議
- 4日 議員全員協議会
- 6日 交通事故10日間作戦出動式
- 6日 第3回定例会本会議
- 7日 第3回定例会本会議
- 9日 町民大運動会
- 19日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会議員協議会
- 21日 交通安全街頭広報活動
- 25日 県議長会議会広報研修会
- 26日 八戸市階上町田代小学校中学校組合議会定例会

10月



- 27日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
- 28日 岩手・青森県境交通安全推進大会
- 30日 小舟渡小学校創立110周年記念式典祝賀会
- 1日 県議長会理事会（～2日）
- 1日 八戸圏域定住自立圏講演会交流会
- 3日 臥牛山まつり・いちご煮祭り合同委員会
- 10日 議会運営委員会
- 10日 第4回臨時会本会議
- 10日 議員全員協議会
- 11日 町交通安全対策協議会
- 22日 郡議長会正副会長会議
- 26日 県議長会正副議長事務局長研修会
- 28日 田代小学校創立90周年・田代中学校創立65周年記念式典
- 30日 リアスハイウェイ早期実現宮古大会
- 31日 郡議長会議員研修会

一般
質問

ここが聞きたい

9月定例会では4人の議員が登壇し、町側の考えをたどりました。要旨を掲載しています。(順不同)



浜谷 貴樹 議員

Q①

第四分団の屯所は、昭和52年建築で最も古い。駅前

の住宅地にあり、緊急時団員の駐車スペースもなく、出勤に時間を要する。

また、建物は、下回りの腐食が激しく、築年数以上に老朽化が進んでいる。

復興計画の施策に「公共施設等の防災拠点化」という項目がある。

移転・新築にあたっては、避難場所となっている道仏公民館と一体となった、防災拠点としての機能を強化し、また、情報収集や伝達においても効果的だと思うが、どう考えているか。

屯所以外にも、ポンプ車両も全分団中で一番古く、老朽化が進んでいる。復興事業と並行して、防災事業も長期的な計画で行うことを強く願う。

A①

町長 屯所再築は、築35年程度を目安としている。

第四分団屯所は、新築されてから、35年が経過しようとしている。

できるだけ早く建て替えるを行い、消防団員が安心して活動できるようにしたい。

防災拠点として、道仏公民館との一体的な機能強化に向けた屯所建設は、現在の敷地で可能か、新たな用地取得が必要かなども含め、関係者のご意見を聞きながら、建設にあたっての方向性を、年度内に決めていきたい。

A①

総務課長 現在の車両は昭和60年購入。27年経過して

おり、車両の更新も、屯所の新築と併せて検討していきたい。

第四分団屯所の移転・新築を

町長／できるだけ早く建て替え消防団員が安心して活動できるようにしたい



第四分団屯所

震災復興計画の進捗状況は

町長／ほぼ計画通り進んでいると思う

Q②

町振興復興計画の中で、今年度までとなっている短

期計画に、大蛇地区集会所移転・新築がある。進捗状況はどうか。また、中期・長期計画の主なものの、進捗状況も併せて伺いたい。

A②

町長 大蛇地区集会所移転・新築は、8月30日に入札を

行い、所要の手続きを経て、年度内の完成を目指している。その他の短期計画で、道仏公民館の耐震化も年度内の完成を予定。

また、光ブロードバンドによる情報通信基盤整備は、回から8月に交付決定を受けたところで、年度内完成に向け作業を進めている。

中期計画は、23年度に海産物簡易加工処理センター、東部地区海産物加工施設の復旧工事が完了し、今年度は、大蛇海岸への餌料海藻造林の設置計画、25年度は階上海岸の海洋資源回復モニタリング調査などを行う予定。長期計画の防災避難路整備は、現在、津波防炎対策調査事業で、津波避難施設整備などの検討を目的とした調査を実施しており、その結果を踏まえ、今後の対応を検討していきたい。



加藤 祐 議員

三陸復興道路整備事業に伴う企業誘致の取り組みは

町長／受け入れ態勢の環境づくりも考え、取り組んでいきたい

Q① 八戸から仙台までの359kmを、東日本震災の復興道路として、23年11月21日、第三次補正予算が成立し、事業化された。

八戸南環状道路も、25年度には高速道路八戸道に接続される。アクセスも良くなり、物流もさらにアップされる。

当町も先を見据えた、企業誘致の方策に取り組み、環境づくりを進めなければならぬ。

企業が目を向けるように、用地を定め、道路・給排水の整備にも取り組み、環境づくりを進めなければならぬ。

三陸縦貫復興道路も、早期完成10年をめどに進むと聞いている。

目標を定め、長期ロードリングを組み、進めていくべきと考えるが。

A① 町長 当町を通る八戸南道路は、24年度完成予定。これに接続する八戸南環状道路は、25年度の完成をめどに高速ネットワークの整備が進められている。

現在開設されている種差海岸・階上岳インターと、新たに階上インターが設置予定となっている。八戸自動車道とのアクセスが向上し、中央との円滑な輸送の確保が期待される。

現在、町の誘致企業状況は、製造業を中心に5社。いずれも町の雇用面では大きな役割を担っている。

働く場が確保されることにより、移住者の増加と地域活性化につながる事が期待できる。

今後は、県誘致企業協議会が行っている、県内に

企業立地を促進するための企業誘致折衝・PR事業、企業立地動向に係る情報収集事業、県東京事務所産業立地推進課、県外の各立地情報センターからの情報収集に努めるなど、関係機関との連携を取りながら、企業誘致のための、用地確保に向けた調査などが必要であり、取り組んでいきたい。

Q② 平坦な土地を保有する当町の、土地の有効利用をもう少し具体的に、前向きに考えていかなければならない。

当町には、八戸からの移住者も多く、交通のアクセスがさらに良くなれば、久慈そして大野・種市方面からも雇用ができる。企業にとって、一番

魅力のあるものではないかと考えるが。

今の状況の中で、用地をいかに確保していくか事前調査しながら、来ていただける企業があれば、受け入れ可能な環境整備や、道路整備もしながら、備えていく必要があると思う。

A② 町長 今の時代の、企業状況は大変厳しい状況である。こういった高速交通体系が提示されることは、大きなメリットであると思う。

工業団地の設置は、道路整備をすることによって、有効可能な、活用可能な土地を、事前に把握して対応していきたい。少しでも前向きに取り組んでいきたい。

用地を定めることは大変なこと、団地造成することなどは凄く難しいことなのは、承知している。

Q③ しかし、町がますます活性化されるよう、方策をたくさん出し、頑張ってください。

A③ 町長 中央、県を通じて、町をPRしていくと同時に、受け入れ態勢の環境づくりも併せて進めていきたいと考えている。

工業団地の設置は、道路整備をすることによって、有効可能な、活用可能な土地を、事前に把握して対応していきたい。少しでも前向きに取り組んでいきたい。



階上インターへ続く道路工事



大江 和夫 議員

建設中ホームセンター周辺の道路拡幅は

町長／開店後の交通量の変化、交通環境を見極め対応していく必要がある

Q① 現在当町に、町外資本の企業が目白押しに出店してきている。

全国的に経済が停滞している中、大手資本の会社が、人口が減少している当町に、出店してくるのは、それなりの計算をし、人口流通を見込んでのことだと思ふ。

町民とすれば、購買の選択肢が広がり、そして町の経済の活性化にもつながると思う。

しかし、交通量が多く、それに伴い交通事故が多発している入り組んだ道路事情のところ、大きな店舗が建つ。

最近、大型貨物車が頻繁に行き交い、大型車同士がすれ違うのが困難な状況。

また、路線バスの通行そして通学路にもなつて

おり、ホームセンターが開店すれば、交通量も多くなるだろうと思ふ。

現在の道路幅では、非常に危険であるが、これに対し当局は、どのような考えがあるのか。

A① 町長 ホームセンターに接する町道は、役場前～耳ヶ

	中道	路肩	盛上路肩	歩道	全幅
役場前～耳ヶ吠線	5.5m	両側で1m	両側で1m	-	7.5m
耳ヶ吠～下茨島	5.5m	0.5m	-	1.5m	7.5m

れ1車線の幅員は2・75mと規定されており、車道幅員としてはクリアしている状況。

ホームセンターの開店以降に、交通量の変化がどの程度になるか、交通量の増加により、交通環境が悪化していくのか、その辺を見極めながら対応していく必要があると考える。

交通安全関係者で実施する交通診断、教育委員会による通学路合同安全点検をすることになっている。その結果を踏まえて、問題点の整理・検討を行った上で、対応していきたいと考えている。

Q② 郵便局方面の道路は、都市計画の中で幅員16mの計画路線と記憶しているが、いつ頃施行の予定なのか。

また、現実的な問題として、何らかの対策があるのか。

A② 町長 9年に策定された計画である。当時の時代・状況から計画され、その後、見直しなども検討されている。

現実的に、道路を16mに拡幅するのは、ほぼ不可能だと思っており、現状を踏まえた道路整備の計画が必要ではないかと思っている。現時点では、都市計画道路、街路計画は、見直しの方向で考えている。

非常にありがたいこと。行政側としてできる限り、町民の雇用の場を確保してもらおう形で、指導してもらいたい。

また、道路幅員16mは、困難だと思うが、現状を踏まえた対策があればそれに沿った形で、我々も協力できるのではないかなと思う。

町に集まり、町の活性化につながる、そして、地元の雇用にもつながるとい面では、

Q③ 大きな資本が当町に集まり、町の活性化につながる、そして、地元の雇用にも

町長 ホームセンターの立地場所は、企業がリサーチし指定したもので、こちらは何も言えない。ただ、ホームセンターに接する町道の、交通の流れが変わっていくことが予想されるので、交通診断や通学路という点など多方面から、検討しながら方策を考えていきたい。



建設中ホームセンターの周辺道路（役場前～耳ヶ吠線）



鹿原 章男 議員

一級町道 耳ヶ吠～茨島下線の拡幅を

町長／交通診断・通学路合同安全点検の結果を踏まえ対応していきたい

Q① 一級町道の沿道には、赤保内小学校と階上中学校があり、通学路として児童生徒が利用している。大型車が頻繁に行き交う中、道幅が狭いため危険を感じている状態。また、歩道も狭く、除雪された雪で歩道が利用できない状態となり、児童生徒が車道を歩行し、非常に危険である。

歩行者の安全を確保するためにも、道幅の拡張が必要であると思うが。長期ローリングの中に計画が入っているかいないのか、もし入っていないのか、なぜ入っていないのか。また、早期改良は無理だと思うが、改良するまでの間、交通規制というのは考えていないのか。

A① 町長 町道を含め道路網の整備は、第四次総合振興計画の趣旨に基づき、各地域の要望・必要性・経済性を含め検討し、推進してきているところ。

本路線は、住宅が張り付いている人口密集地。歩道拡幅可能な場所はどこか、事業を進める上で必須である用地買収・物件移転の可能性はどの程度か、事業化の前に調査が必要と考えている。その上で、歩道設置可能な箇所は検討をし、困難な箇所は、今後の課題にしたいと考えている。また、当初からローリングには入っていない。現状から緩和し今後の対策として、拡幅の必要性は考えている。交通規制は警察署の管轄。警察署も含めた関係

者の交通診断もしながら、検討することになると思う。診断結果の検討をもつて対応していきたいと思う。



一級町道 耳ヶ吠～茨島下線

私道等整備特別対策事業は終了するのか

町長／本事業は本年度で終了したい

Q②

19年から実施している、私道等整備特別対策事業が、24年度で終了することになっている。未舗装のまま整備されずにいる私道はまだ多数あり、今後整備を進めていく必要がある。基準を改良し、新

しい要望を出しやすい、基準・環境を整え、25年度からも継続して実施できるように願う。

A②

町長 補助率の緩和は、個人の資産に対し、どこまで補助するのが良いか、判

断が難しいと考えている。今年度は各行政区で、各地区で計画された箇所、同意が得られた箇所は、今年度ではほぼ整備されるものと思われるため、本事業は今年度で終了したいと考えている。今年度は各行政区で、まちづくり地区計画の見直しを行っている。その際必要な箇所があれば計画書に掲載してもらい、今後は、それを踏まえ検討していきたい。

山館前公園までのアクセス道路の整備は

町長／地域の声・意見を聞きながら検討し対応していきたい

Q③

山館前公園内の遊具などの整備は、23年度予算で実施されたが、公園までのアクセス道路は、13年度に一部拡装舗装整備、一部は現道のまま舗装整備となった。道幅が狭いため、車の交差ができない状態。歩行者も危険で、早急な改善が必要だと思う。また、13年度に一部改善した後、改善に向けて何回くらい努力しているか。アクセス道路は、五重の塔・灯明堂そして寺下観音へと通ずる道路である。観光面からみても、早急に改善してほしい。

A③

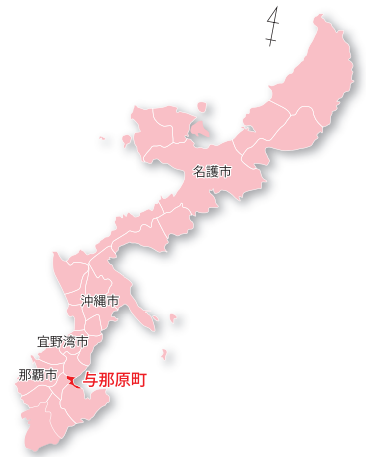
町長 現状の公園利用の状況を確認しながら、今後の利用などを含め、地域の声・意見を聞きながら検討し、対応していきたい。13年度に整備した後は、改善に向けては特に行っていない。

観光面からも、必要性があるというのは同感。地域住民との意見の一致・同意が必要であり、地域で話題性や必要性などが出てくれば、行政も一緒に進めていきたい。

県外行政視察研修

7月3日～6日、沖縄県への県外行政視察研修に13名の議員が参加。(研修内容の報告は11～13ページに掲載)

		与那原町	階上町
人口*	※人口は24年7月1日現在	17,884人	14,433人
面積		5.0km ²	93.8km ²
議員定数		14人	14人
議会の委員会	常任	総務財政 7人 建設文教 7人 議会広報 6人	総務財政 5人 教育民生 5人 産業建設 4人
	特別	議会活性化 5人 防災対策に関する調査 13人	—
議会の活性化	—	—	議会運営 4人
議会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 「議会活性化委員会」など議会の活性化にかかる議会組織の設置 模擬議会の実施 議会主催の住民懇談会・議会報告会の実施 	—	地方自治法第96条第2項による議決事件の追加



◀与那原町議会議員の説明を聞く議員のようす



与那原町議会では、議会活動の状況を地域に向き、町民に直接報告・説明し、議会活動への批判や意見、町政への提言などを直接聞く機会として、議会主催の『議会報告会』を行い、議会で議決した中で、重要で町民に感心があるものを優先し報告・説明している。報告会に必要な司会進行・報告者・答弁者・記録者などは、7人単位で編成された班ごとに協議し決定しており、班の構成や開催会場などは、全員協議会で協議し決定している。



また、与那原町議会では、議会と住民がいつでも意見交換することができる「一般会議」という施政もある。当議会でも、『議会報告会』を実施するか検討するため、事業内容や取り組み状況などを研修してきた。



与那原町議会だよりは、昭和63年6月に創刊号(第1号)が発行され、当町と同じく、定例会ごとに年4回発行している。与那原町議会では、21年5月に『議会広報常任委員会』が設置された。委員会は、掲載内容、発行までの日程などを決めるためと、1回目の校正を行うためと、2回招集される。2回目の校正は、正副委員長で確認し印刷会社へ提出。最終確認を事務局が行い、発注となる。

当議会でも、『議会広報常任委員会』を設置すべきか検討するため、そして、より良い議会だより作成のために、与那原町議会だよりの編集から発行まで、議員の役割などを研修してきた。



▶与那原町議会だより

県外行政視察研修報告会

7月26日、与那原町議会視察研修報告会を行い、議員13名が参加。
発言順に要旨を掲載しています。

◆議会報告会を 実施できるか？

与那原町議会では、議会活性化に向け、議会報告会や一般会議などを開催している。

概要や取組状況などを研修してきた。

当町でも実施すべきか、また、実施できるか、意見を交わした。

鹿原議員

与那原町では、議会活性化特別委員会を設置し、議員自ら議会の活性化に取り組み「開かれた議会」に向けて努力していると感じた。

我々も見習い、町民の皆さんに、議会の活動状況や結果を知ってもらいたい。また、議会活動や町政に対するご意見、ご提言をいただくことで、議会活動を

畑中議員 議会での主な議案審議、内容を説明することで、議会・議員活動を住民に理解してもらえと思う。

議員としても地域の実情が分かり、日頃の勉強が必要であり、良いと思う。

郷州議員

議員が、公平に多様な町民の意見を聞き、町政の課題に対応することも大切なことだと思う。

議員、議会が自ら住民に活動の報告をすることが必要だと思う。

与那原町では、出前で会議を開く「一般会議」という施政もあり、報告会だけでなく、一般会議もやっていかなければと思う。

山田議員

議会活動の状況を直接、町民に報告・説明し、町政に関する情報提供に努めることは、当議会も必要かと思う。

意義や内容、報告会の周知徹底を図り、進めていく計画を持ち、やっていくべき。

百目木議員

町政への関心を高める上で必要であり、素晴らしいことと思う。

しかし、与那原町では、月20日も出て議会をしてい

畑中議員

議員の売名の場にならないように、細かいルールを決め、それに沿った進捗をしなければいけないと思うので、他の議会報告会も視察研修してからで良いと思う。

山田議員

与那原町では、開催場所を学区2つに分け、

議員は住所地以外へ行き交流している。当町では、石鉢・赤保内・浜手の3地区に分け、議員も3班に分けて開催場所をローテーションで行い、議長・副議長は常に参加し、意見をまとめてもらうというやり方かどうか。

松尾議員

議会で審議した事項は、広く町民に知っていただくことが義務だと思う。

今まで以上に勉強しなければならず、議員としての質の向上にも役立つものと思う。
是非実行したいと思う。

浜谷議員

町民に対しての議会報告会は、すごい取り組みだと思う。

当町で行った場合、果たして、町民が来てくれるのか、疑問に感じる。

加藤議員

内容を濃くし、決められた課題の中で、やり取りをするようにしなければと思う。



県外行政視察研修報告会のようす

松尾議員 与那原町と、

同じような方法とはいかないだろうが、階上方式を模索しながら、早期開催できればと思う。

浜谷議員 若い人たちも

集まってくれるように、考えなければならぬと思う。

加藤議員 議会は、町民

に対し閉鎖的な部分がある。扉を開き、理解してもらうことも必要だ。

大江議員 町民にもっと、

議会と理事者の役割を理解してもらいたい。

事務局長 昨年、岩手県

紫波町の議会報告会を視察させてもらった際、会場に事務局職員は行かず、議員が準備や司会など、全てやっていた。

当町でも、議員主導で開催するというのはどうか聞きたい。

加藤議員 大変だろうが

責任の転嫁がなく、議員そ

のものの責任の下で進める

のも良いかもしれない。

怠慢している議員が、多いのではないかとという町民の声が多い。議員がしている仕事を、分かってもらう良い機会かもしれない。

山田議員

最初は、事務局が準備や段取りなどをして、それから話していくのならば分かるが、一回目からというのは難しいと思う。

畑中議員

町側からも誰も来ず、議員だけでやるということなのか。初め、苦情だけが出るとすれば、難しいと思う。

鹿原議員

将来的には、議員だけでやるべき。スタートを、行政や事務局に全て任せてしまうと、議員だけでできなくなってしまう。実施までに自己研鑽し、議員独自がお互いの資質の向上を図りながら準備し、万全を期してスタートするのが良いと思う。

木村議長

議会報告会は、可能な限り町政の情報を、町民に提供する方法の一つ。議会たよりの他に、開かれた議会を目指すために、勉強しながら徐々に進められればと思う。

議員は、一部地域・職域の代弁者ではなく、町民全体の代表者として、自らの意識を高める必要があると思う。

◆議会広報常任委員会を設置すべきか？

与那原町議会の議会たよ

よりは、議会広報常任委員会を設置し、議会たよりの編集・発行に、議員が関わっている。

現在、当町は事務局だけで作成しているが、委員会を作り、議員が編集・発行に関わるべきか。

山田議員

今ある3つの常任委員会と同等の、議会広報常任委員会の設置は、時期尚早だと思う。

常任ではなく、ただの委員会として、チェックする機関の設置は必要だと思う。

鹿原議員

委員会を作るのは良いと思う。ただ、常任委員会を作るとなれば、条例改正もしくは、今ある常任委員会の中に「議会たよりの事項を入れるか、二つの方法しかないのではないかと」かと思う。

百目木議員

与那原町の場合、一回の定例会での一般質問者は、平均12名で、事務局に任せられず、自分たちで広報作成をすることになったのではないかと。

当町の場合、4・5名なので事務局にお願いし、任せ方が良いと思う。

林議員

もう少し、方法などを研修する必要があると感じる。

郷州議員

これまで通り、事務局が進めてほしいと思う。第三者が入れば、良くないのではないかと。複雑にすべきではないと思う。

松尾議員

与那原町では、議員が議会広報作成に関わっていることに驚いた。現状でも不満はないが、自分たちの広報なので、関わるのが当然だと思う。

大江議員

当町議会たよりはまた浅いので、現状が良いのではと思う。

浜谷議員

今まで通りで良いと思う。

畑中議員

議会たよりを通して、少しずつでも町民にご理解いただけたるように、みんなで考え、努力していくが良いと思う。

鹿原議員

議会が発行するものだから、事務局任せではなく、議員も発行全体に関わるべきだと思う。



単独発行になってからの当町議会だより (No.5～No.10)

加藤議員

一般質問者が、特に訴えたい部分、理事者の答弁内容はどこを強調し、どう載せるか、それぞれあると思う。

内容をもっと載せた方が良いものは、1ページといわず、増やしても構わないと思う。

当町の議会だよりは、理事者側に対しての気遣いが多くみられる。

山田議員

今は、一般質問を中心にかけているが、町民からは、議員が活動しているのが見えず、何をしているのかという声がある。議員の細かい活動も、こまめに載せれば浸透してきて良いと思う。

木村議長

当面は、今ある常任委員長クラスで、意見を出し合い進めるというのも良いと思う。

他町村の議会だよりも参考にしながら、幅広く取組んでいければと思う。

◆嘉数高台公園から
普天間基地を見て

新聞、テレビなどで騒がれている普天間基地問題。

宮野湾市の真ん中にある普天間基地は、市内にある嘉数高台公園の展望台から一望できる。

基地やその周りの住宅などは、どのように見え、感じたのか。

畑中議員

極東など、米軍にとって重要な基地であり、日本の防衛に必要な基地ではある。しかし、普天間は周りに学校や住宅が密集し、騒音・事故・事件などあり、沖縄県民にとって反対するというのは分かる。オスプレイ配備など、ますます不安だと思う。移設できるものなら、その方向が安全かもしれない。

山田議員

日本の歴史、沖縄の立場を考えると、移転は必要だと思うが、今の日本の立場、アメリカの東アジア戦略、平和を考えれば、この基地の重要性は分かる。難しい問題である。

郷州議員

住宅密集地の中心部にあり、事故が起きれば大変なことになると思う。他に大きな飛行場があり、そこに移せば良いと思う。

鹿原議員

有事の場合は、大変危険を伴うと思う。早期移転が必要と思う。

大江議員

嘉手納基地は、東洋一大きな飛行場だと言っていた。そこに普天間基地を移せば良いと思うが、そういかな理由があるのかなと思う。

鹿原議員

展望台に小学校中学校の生徒の団体がいて、年配の人が説明をしていた。それを聞くと、「これは反対するもの」



「道の駅かでな」から見える嘉手納基地(飛行場)

加藤議員

基地が移転すると、困る人も沢山いると思うので、それで商売している人が、商売にならなくなるというのもあると思う。

畑中議員

基地に勤めている人もいるだろうし。

山田議員

普天間基地で、三沢のアメリカンデーのようなイベントはないのか聞くと、テロがある前まではあり、反対していない人、基地に関係している人は、相当行っており、結構賑わっていたと思う。それらは表に出ず、反対だけが表に出ていると思う。

畑中議員

ガイドもそういっところがあった。

事務局長

反対運動をしている人なのかもしれない。基地を移せば良いと思うが、そういかな理由があるのかなと思う。

山田議員

インターネットで見ると、小中学校が近くにあり、国が学校を移転しますよという話をしても、学校移転は反対。移転してしまえば、基地に対して反対ができなくなるからと載っていた。

嘉数高台公園展望台から見た普天間基地(飛行場)



議会議員研修会

10月31日、田子町で開催された「三戸郡町村議会議員研修会」に、議員11名が参加。

- 講師 階上町歴史研究会
会長 正部家 奨 氏
- 演題 明治期の郡制施行とその後



議会広報研修会

9月25日、青森市で開催された「県町村議会議長会議会広報研修会」に、木村議長と松尾議員の2名が参加。

- 講師 エディター
株式会社ジェイクリエイト
代表取締役社長 城市 創 氏



定住圏講演会

10月1日、新郷村で開催された「八戸圏域定住自立圏講演会」に、議員11名が参加。

- 講師 八戸大学
学長 大谷 真樹 氏
- 演題 地域資源を活かした未来づくり



郡町村議会議長会臨時総会

8月8日、三戸郡町村議会議長会臨時総会が、田子町で開催され、当町議会議長が会長に就任。

このことにより、青森県町村議会議長会の監事を退任し、理事に就任。

- ◆三戸郡町村議会議長会 会長 木村 勝彦
(任期 24年8月8日～25年5月31日)
- ◆青森県町村議会議長会 理事 木村 勝彦
(任期 24年8月8日～25年5月31日)

編集後記

議会広報研修会で学んだことを生かし、公平で、正確な記事、そして読みやすく、分かりやすく、皆さまに関心を持たれる「議会だより」の作成に取り組んでいきます。ご意見・ご要望など、どんなことでも構いませんので、どしどしお寄せください。

議会傍聴者数

- ・平成24年第3回定例会 (9月)
9月4日 (0人)
9月6日 (9人)
9月7日 (2人)
- ・平成24年第4回臨時会
10月10日 (0人)

議会を傍聴しませんか

次回の定例会は12月11日(火)開会予定です



議会の傍聴は、役場3階の傍聴ホール入口に置いてある受付簿に、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

発行／青森県階上町議会 〒039-1201 青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平1-87 年4回発行 平成24年11月10日発行
編集／階上町議会事務局 ☎ 0178-88-2369(直通) FAX 0178-88-2117 URL <http://www.town.hashikami.lg.jp>

はしかみ議会だよりは4,650部作成し、印刷経費は1部当たり53.6円です。